

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-GREEN

東京グリーン

CHARTERED 1973

< 2018.06 >

BULLETIN

2017年7月～2018年6月



国際会長
アジア会長
東日本区理事
関東東部部長
クラブ会長

Henry J Grindheim「ともに、光の中を歩もう」(ノルウエー)
Tung Ming Hsiao「ワイズ運動を尊重しよう」(台湾)
栗本治郎「広げようワイズの仲間」(熱海)
長尾昌男「義務を果たして、クラブと関東東部の活性化を図ろう」(千葉)
浅見隆夫「親睦なくして奉仕はない」(グリーン)

会長 浅見 隆夫
副会長 西澤 紘一
書記 目黒 卓
書記 布上征一郎
会計 浅見 クミ子
会計 佐野 守
監事 柿沼 敬喜
担当主事 木村 卓司

6月 ペンテコステ、教会の誕生

「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、「霊」が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。」

(使徒言行録2:1-4)

< 神さまはこの時以来、聖霊をもって一人一人に生きる力を与えて下さっています。 >

2018年06月 第一例会

日時:2018年06月20日(水) 18:30～20:30
場所:千代田区和泉橋区民館 2階
千代田区佐久間町 1-11 TEL03-3253-4931
受付:平林君/司会:森川君

開会点鐘 浅見会長
ワイズソング・ワイズの信条 全員
聖句・お祈り 古平君
ゲスト・ビジター紹介 浅見会長
食事 (一言添えてニコニコ献金)

メンバースピーチ 各人一言お話を2～3分で
内容は ~ この1年を振り返って ~

神田川関連報告 目黒君
YMCA 情報 木村君
Happy Birthday<6月 古平メン 1名>
ニコニコ発表 浅見ク君
閉会点鐘 浅見会長

* 来月7月のキックオフ例会から会場は東陽町の
YMCAホールに変更になります。ご注意ください。
* 来期も第二水曜日の役員会は和泉橋会館です。

前期・今期を振り返って



我がグリーンクラブも皆様のご協力を得て45周年を盛大に祝っていただき感謝申し上げます。前期、今期と会長も続けて務めましたので、そろそろお役御免とさせていただくことになりました。最近、加齢による体力

の衰えを痛切に感じ、今まで考えもしなかった身辺整理を始めました。私が天寿を全うした後、子供たちにとって何の価値もないであろう同窓会・民謡・ゴルフ・釣り・写真・テープ・CDと、何れいつか役立つかもと保管した多岐にわたる資料を処分し始め、また、YMCA関連、ワイズ関連も相当量の資料が溜まっていますが、これらも慎重に目を通して整理を始めました。一応処分する前に確認することを原則にしましたので時間はかかっていますがビックリするほどの大量のゴミと化しました。

さて、多少身軽になりましたので、これからは「神田川船の会」を中心に各河川・東京湾関連の資料の充実、趣味の水彩画を残された人生の生きがいライフワークにしたいと願っています。今後とも宜しくお付き合いのほどお願い申し上げます。 会長 浅見隆夫

【例会出席率】 在籍:18名 メーキャップ 2名 出席率 15/18 83%
出席:5月(メン13名、メネット1名、ゲスト1名)計15名
【ニコニコ】 5月例会 13,000円 累計 84,000円

＜2018年05月 第一例会 報告＞

日時:2018年5月16日(水) 18:30~20:30

場所:和泉橋千代田区民館2階

出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・柿沼・木村・古平
佐野・西澤・布上(征)・樋口・平林・目黒・森川・布上(信)

今月のスピーカーはメンバー・スピーチとして柿沼監事が手を挙げてくれたので全会一致、伺うことになった。演題は「一期一会の仕事/建設工事に携わって」である。



柿沼敬喜さんは大学の建築科を出て建設会社に入り3年実務ののち、一級建築士の資格を取り、数々の建設現場を仕切ってきた経験から我々一般の者では知りえない建設とそれに拘わる関係者に対する厳しい法律、受注から工事着工へのプロセス、最終の引き渡しまで、気の抜けないゼネコンとしての監督の業務内容を詳しい冊子を配布して説明してくれた。大型ビルなどの建設には建設業者として28種類の専門業者が分担して関わっておりそれらに各々下請け等のルートが組み込まれ、膨大な会社と人数が携わっていることがよく理解できた。そしてそれらの業者、作業者はその物件が完了し、引き渡されれば契約が終了、一切解散となってしまう。それが「一期一会の共働作業」という意味である。今回の卓話は建設という国家の基本事業を担ってきた経験者の話として感慨深いものであった。

(布上 記)

2018年05月 第二例会 報告＞

日時:2018年5月9日(水) 18:30~20:00

場所:和泉橋千代田区民館5階

出席:青木・浅見(隆)・浅見(ク)・柿沼・佐野・高谷・西澤
早瀬・布上(征)・平林・目黒・森川/松本・矢吹 ゲスト:林
報告・連絡事項

- ①第21回東京YMCA 会員芸術祭(東陽町センター)
5月19日(土)オープニングセレモニー 14時~15時半
- ②下町子どもダイニング (YMCA情報)
- ③プロジェクター購入 EPSON 45000円 布上管理
- ④アンダーゴルフ 東雲グランチャ 5月18日14:00~
- ⑤10月例会卓話 10月17日(水)東陽町YMCAにて
青木勝彦氏「私の追憶の名画」樋口メン推薦
- ⑥例会場を移す 和泉橋区民館→東陽町YMCA
年間50,000円 メリット 例会備品倉庫無料
2018年7月18日(水)の例会より東陽町で開催。
- ⑦東日本区大会参加者
青木・浅見T・柿沼・佐野・布上・布上(メ)・平林・木村
*規定通り登録費用 半額クラブ負担

審議・協議事項

- ① 第77回神田川船の会 最終チェック目黒実行委員長
- ② 5月例会メンバースピーチ 柿沼メン「一期一会の仕事」
6月例会 メンバースピーチ 今期を振り返ってスピーチ
7月例会 東陽町でのキックオフ例会 沖館長卓話
8月例会 「ライオン秋葉原」で納涼例会/西本メン采配
(布上 記)

Happy Birthday

6月 古平光市(メン)

第21回東日本区大会(沼津)開催



2018年6月2日~3日沼津クラブのホストでラザヴェルデをメイン会場に、富士山部各クラブの協力のもと、470名以上のワイズメンの参加を得て、立派に盛大に開催された。オープニングの和太鼓が印象的であった。

栗本東日本区理事をはじめ現行東日本区役員の皆様ご苦労様でした。そして宮内次期東日本区理事及び区役員の皆様頑張ってください。2019年の代々木区大会にはご協力を惜しみません。

グリーンクラブとして今期は特別の受賞等はないが、区への各種負担金は全て達成されている。

クラブ参加者は青木・浅見(隆)・柿沼・佐野・布上(征)・布上(信)・平林・木村担当主事の8名。(布上記)

第21回東京YMCA 会員部芸術祭



2018年5月19日、東陽町YMCAセンターにて開催された。オープニングは恒例通りYMCA 菅谷総主事、菅谷功先生、浅見実行委員長のテープカットでスタート。展示品の講評を菅谷先生からいただき茶話会になる。参加者の紹介のあと、今年は「澤田流津軽三味線」を嶋倉昌平さんのお仲間10名の団体参加で大いに堪能させていただいた。展示は48名、62点の出品であったが、例年より特に「油絵」が少なかった。一週間の展示で最終日はYMCA 会員大会の日と重なり、それなりにPR効果はあったと思う。(布上 記)

クラブの円滑な運営のため、年会費をお納め下さい
(2017-18年度 会計:浅見クミ子)

＜会計担当・口座番号 変更になりました＞

みずほ銀行 駒込支店 店番号559 (普)1310439
口座名 東京グリーンワイズメンズクラブ

在京ワイズ・クラブ会長会開催

2018年5月26日(土)午前10時より東陽町の東京YMCA社会体育・保育専門学校にて午後からのYMCA会員大会に併せて例年通り標記の会が在京17クラブの会長および次期会長、YMCAからは幹事および各クラブ担当主事が出席のもと開催された。今回は大田勝人(世田谷クラブ)会長会幹事の司会により進められ、菅谷東京YMCA総主事の挨拶、長澤弘(東京クラブ)会長会幹事による「会長会幹事報告」、小原(世田谷クラブ)YMCA会員部運営委員長による「会員部報告」等があり、引き続いての協議では、2名体制の現・長澤会長会幹事の任期満了に伴い私との交代が承認された。なお、クラブ会長報告・アピールの時間では、各クラブ会長から近況報告等がなされたが、その中で「年2回の在京のワイズの会長とYMCA担当主事が一同に会する機会をもっと有意義に運営する」ための提案等がなされ、閉会后、会長会およびYMCAの幹事の話し合いにより、次回開催(1月予定)までに会の運営について幹事会を開催することの申し合わせがなされた。(クラブ出席者:浅見会長、木村担当主事、柿沼次期会長会幹事)(柿沼記)

東京YMCA「第16回会員大会」

在京ワイズ・クラブ会長会開催日の午後13:30より東京YMCA東陽町センターにて100余名の参加者のもと標記大会が開催された。今年の大会のスローガンとして「会員によるYMCAを知ってもらう大会」を掲げて、準備段階からYMCAのスタッフのみでなく会員部運営委員も積極的に参加し、またYMCAを広く一般の人にも知って貰うために非会員の参加も可とした。昨年ブースを設けることができなかった各センター等で実施している事業について事業別にブース(介護予防、下町子どもダイニング、野尻学荘、チャイルドケア、会員芸術祭の各ブース)を設けて活動状況のPRを行ない各ブースには多くの見学者が集っていた。

なお、Youth Volunteer of the Yearには今年3月28日に召天された杉村克己氏(北クラブ・グリーンクラブチャーターメンバー)が推挙され奥様の一栄様が代理受賞され、また、新たに次期東京YMCA会員部運営委員として我がクラブの青木方枝メンが推挙・承認された。(クラブ参加者:浅見隆夫、浅見クミ子、青木、布上、柿沼)(柿沼記)



田園調布学園クルーズ 開催

<田園調布学園の女子生徒200人を下町河川に御案内>

2018年6月7日(木)の炎天下、田園調布学園高等部1年生の一日校外学習「神田川船下り」に全面協力した。午前と午後の2回に分け、それぞれ3艘ずつの遊覧船を仕立て、われわれスタッフは各艘2名ずつ計6名(浅見、柿沼、布上、早瀬、樋口、目黒)が乗り込んだ。2回計で生徒さん190名・先生11名の総勢201名の乗客で、5/12神田川船の会に準ずる規模感となった。



船は千代田区和泉橋防災船着場を出航。神田川→隅田川→晴海運河→東京港→隅田川→日本橋川→神田川をぐるり。通り慣れたコースだが、学園独自のテキストで事前学習した生徒さんたちは一般の大人より正確な情報を持っている一方、スタッフにとっては孫のような(否、私には娘のような(´▽`))あどけなさの残る子どもたちである。戸惑いを感じつつも、江戸・東京の歴史、町並み、建築物、環境(水質・生物)等をご案内した。事後、「生徒の満足度も高く、来年も、これから先もずっとお世話になりたいと考えております」の礼状が学園窓口の柿沼メンに届き“ほぼ”成功裡の結果となった。しかし、午前の出航直後の急な船頭の交代とその遅れを取り戻すための船足の遅速の極端なアンバランス、ガイドの一本調子や大人相手の話しぶりが転換できないことなど、課題も残した。次回までに、高一生など若年層へのガイドをより有意義にするにはどうすればよいか、関係者摺り合わせて臨みたい。なお、この日午前・午後100名ずつが両国横網町公園の東京都慰霊堂を訪れ、識者から関東大震災、東京大空襲について説明を受けたとのこと。このように辛い過去にしっかり向き合う学園の姿勢に寄り添った案内を心がけたいと思う。

(神田川船の会・実行委員長 目黒 記)



「東京グリーンクラブ：神田川船の会」の半纏着用

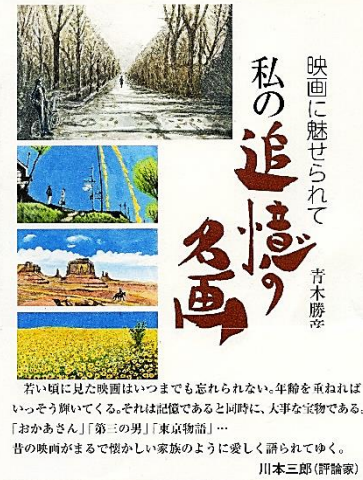
第47回「私の追憶の名画」 青木勝彦 著

愛育社 (2017/1月)

著者は1942年群馬県生まれ、育ちは東京。映画検定1級資格を持つ映画評論家。

学生時代から映画が趣味で、雑誌などに評論を執筆。大手電機会社に入社後、情報事業関連会社の役員として経理部門を管掌。現在はコンサルタントで社外監査役等をされている。シネマディクト所属。

本書は、著者が退職後に高齢者向け雑誌「きら



めきプラス」に3年ほど連載した「青勝の追憶の名画」を加筆修正し、昨年著書を出版したものです。

著者自身の追憶から選び出された42作品につき、「追憶(映画との最初の出会い)」「再会してみても」「作品紹介と鑑賞のしかた」などをまとめたものです。映画ファンの方なら当時の自分の心境も懐かしく思い起こされることでしょう。映画にあまり縁がなかった方にとっても、一度この映画を見てみようという気を十分に起こさせてくれるでしょう。以下本書の帯紙に記された評です。

「若い頃に見た映画はいつまでも忘れられない。年齢を重ねればいっそう輝いてくる。それは記憶であると同時に、大事な宝物である。「おかあさん」「第三の男」「東京物語」...昔の映画がまるで懐かしい家族のように愛しくかたられてゆく。」評;川本三郎(評論家) (樋口順英 記)

この本を樋口メンから借りて一気に読みました。中学時代から映画好きで、主に洋画を観ていた私としては嘗て観た映画の講評が懐かしく、また、違った見方の指摘が刺激的で、再見したくなりました。更に、タイトルはお馴染みでもまだ観ていない映画も沢山あり、名画DVDを購入しても観たくなりました。最近テレビでWOWOWやスターチャンネルなど有料で映画を放映していますが、月間料金もバカになりません。いまでは無料のムービープラス/シネファイWOWOW/ザ・シネマ/FOXムービー/日本映画専門chHDなどの半月分くらいの番組を一通り検索して、よさそうなタイトルの映画を録画するようになりました。あとでゆっくり観ようと思っても実際は時間がなく、50時間以上の録画用HDが溜まる一方。それでもオスカー物は番組表で見つければ一応録画しようと思えますね。日本映画はやはり黒沢さんがいいです。今観たいのは「万引き家族」。

*この本の著者青木勝彦氏は樋口メンとは大学、会社とも先輩後輩の間柄で、今年10月17日(水)東陽町のグリーンクラブ例会で、この本を元に、ゲストスピーチを引き受けて頂いています。10月までには数点の名画を再見して青木さんのお話を伺うことにしたいと考えています。

(布上 記)

▼熊本YMCAは、熊本大地震復興支援募金期間を1年延長し、2019年4月30日までとすることを決めました。募金目標額は、被災コミュニティの緊急支援、及び熊本YMCAの活動による復興支援活動のために2億円。復興は進んでいるものの、いまだに3万8千人の方々も仮設住宅などでの生活を余儀なくされており、再建の目途の立たない方も多数いることから、引き続き全国YMCAが協力し、継続的な復興支援を行っていきます。

▼昨年12月の「日中韓YMCA平和フォーラム」に参加した青年たちが中心となり、全国YMCAは「平和週間プロジェクト ~折り鶴でつなげる平和への思い」を実施しました。全国から22,000羽を超える折り鶴が広島に届けられ、5月5日「原爆の子の像」建立式典で献納されました。東陽町センターでは多くの方にご協力をいただき1,000羽となりました。また東京YMCA全体として約2,300羽を贈りました。

▼5月19日、「第21回会員芸術祭」のオープニングセレモニーが東陽町センターで開催されました。開幕のテープカット、菅谷功先生(新槐樹社準委員)による講評、嶋倉昌平氏ほかによる津軽三味線の演奏があり、出展者同士の交流がはかられました。今回は48名62点の出品があり、一週間にわたる会期中は、会員やワイズメンズクラブによるボランティアに受付の協力をいただきました。

▼5月26日、「第16回会員大会」が東陽町センターにて行われました。当日は114名の方にご参加いただきました。第3部では交流の機会があり、ボランティアリーダーによる活動紹介やキャンプソングを歌う時間があり、とても賑やかなひと時となりました。また改修工事を終えた館内は各所にブランディングのロゴやモチーフを内装に使用し明るい雰囲気センターになりました。

▼夏休みのキャンプ・スクールの受付が2018年6月8日(金)10時からスタートします。「本会員」の先行予約は2018年6月6日(水)10時から承ります。山、川、湖でのサマーキャンプや日帰りのほか、短期水泳、体操、英語、工作など今夏も多数のプログラムを用意しています。みなさまのご参加お待ちしております。(主事 木村卓司 記)



会員芸術祭・写真部門に出品(布上)
西多摩郡日の出町の新名所 寶光寺:鹿野大仏